臺灣日日新報　昭和七年十二月十七日　(土曜日)　第一万一千七百四十四號　(一)
臺灣日日新報　(第二版)　(原稿配達)　(朝夕刊一部五月九日附)　(臺灣郵便物認可)

臺灣吉新幸(七)

十二月十六日　夕刊を限り一部拾銭

發行兼編輯人　綱野菊　臺北市榮町四丁目三十二番地　電話(代表)一八〇番
印刷所　臺北市榮町四丁目三十二番地　臺日印刷株式會社
臺北市内　一部拾銭　一箇月金八十錢　臺北市内　一箇月金八十錢
臺中市　一箇月金八十錢　臺中支局　臺南市　一箇月金八十錢　臺南支局
高雄市　一箇月金八十錢　高雄支局　花蓮港　一箇月金八十錢　花蓮港支局
大阪市北區堂島中一丁目　大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町三番地　東京支局
(振替口座臺北一三番)

日本石油
フロペン瓦斯

早蕨の沈沒位置
十日目に漸く判明す
北緯二十七度十七東經百二十二度十分
(ロープに船底の赤い塗料が付いて確定)
第二十六驅逐隊の殊勳

(基隆電話)　去る五日魔の海、富貴角北方約百二十哩の沖合に驅逐艦早蕨が姿を沒してから十日、救難の各艦船が不眠不休で活動した結果、第二十六驅逐隊の手で幾度も引つ懸けては取りはづした大物に十四日午後四時しつかりと引つ懸けた、之も不幸ロープが切れたがロープの所々に船底の赤い塗料がついて來たので早蕨に相違ない事を確認し得るに至つた、大體の位置は北緯二十七度十七、東經百二十二度十二で直ちに赤いブイを投げ込んで目標としたが燃料が切れたため一先づ引揚げる事となつて十六日午前七時第二十六驅逐隊栗、榧、柿、檜の四隻は勤務を齎らして基隆に入港した

飛行機二臺
現場へ飛ぶ

【基隆電話】十六日午前八時十五分龍驤から水上機(第一、第七驅水上機)が發艦し現場まで飛ぶことを繼續した、現場まで飛ぶことを繼續した、現場まで飛ぶことを繼續した、現場まで飛ぶことを繼續した

十日目に漸く判明す

北緯二十七度十七東經百二十二度十分

(ロープに船底の赤い塗料が付いて確定)

第二十六驅逐隊の殊勳

まだ命令がないのでその所在は判らない

聯盟十九國委員會で
決議案を假採擇

日支代表に提示回答を得て
十六日委員會再開

【ゼネバ十五日發電通】十九國委員會は小委員會の報告を聽くべく十五日午後五時八分(發表時間午後六時十六分)開會、小委員會より廻付された決議案を假採擇して日支兩代表へ提示回答を得て十六日午後二時半(發表時間午後七時)再開することに決し、午後六時十分(發表時間午前一時十分)散會した、尚十五日の十九國委員會に出席せる各國代表左の如し

(イギリス)サー・ジョン・ブラット　(イタリー)ビアンチエリ
(ベルギー)ドワイアール伯　(フランス)マッシグリ公使
(スペイン)マダリアガ　(ドイツ)フオン・ウイゼツカー　(トルコ)フスヌー・ベー　(メキシコ)スアレス　(グワテマラ)マトス
(チエツコ)ネシユ　(アイルランド)レスター　(ソールエーブラードランド)　(ポルトガル)ウアスコンセロス　(ポーランド)ラクチンスキー　(ハンガリー)タンツオス　(スエーデン)ウンデン　(パナマ)ガライ　(日ロンビア)レストレポ　(スイス)ヒューベル

決議草案の內容

【ゼネバ十五日發電通】聯盟委員會の手で作製された決議案はその附屬書と共に十五日午後日支兩全權に非公式に手交された

【ゼネバ十五日發電通】聯盟委員會の決議案は十五日午後より開かれる總會に提出されるが、その內容は次の如くである

一、原狀回復は不可能なるも現狀維持は問題解決の所以にあらずと認めたる點

二、聯盟委員會はこの點に於てその任に當らんとしたる點

三、委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

四、聯盟委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

五、聯盟委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

六、聯盟委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

日支兩代表に手交さる

【ゼネバ十五日發電通】聯盟委員會の手で作製された決議案はその附屬書と共に十五日午後日支兩全權に非公式に手交された

我が主張と重大懸隔

代表部の空氣緊張す

豫定の如き進捗期待し難し

【ゼネバ十五日發電通】聯盟小委員會の決議案は十五日午後よりの會議で愈〻討議を開し、午後七時十九國委員會議長ウイアール伯(ベルギー)より總會代表に手交された

正文は日本の意向を無視せる點あるため我代表部は午後九時(東京時間十六日午前四時)より代表部會議を開き緊張の空氣漲つてゐる、お決議案中日本として絶對に認め得ざる點三つあり、即ち

一、原狀回復は不可能なるも現狀維持は問題解決の所以にあらずと認めたる點

二、聯盟委員會はこの點に於てその任に當らんとしたる點

三、委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

四、聯盟委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

五、聯盟委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

六、聯盟委員會は日本の意向を考慮として認めんとする點

來年四月頃まで
引揚げは困難

當分は位置の變動を
見守る外はあるまい

西村北六驅逐隊司令語る

西村北六驅逐隊司令は艦隊の引揚作業に關し十五日午後より旗艦鳥海に將旗を掲げ、且つ現場では北六の各驅逐艦の引揚げ作業を指揮する筈であるが、昨日までの作業は全く失敗に終つた、即ち十五日午前十時半頃より作業を開始し、午後一時半頃までに二回に亘つて引揚げたのであるが、二回とも引揚げ中途にて切斷し、遂に引揚げ得なかつた、尚ほ午後二時半頃より作業を開始したが、午後四時頃に至つて遂に引揚げ得なかつた、尚ほ午後二時半頃より作業を開始したが、午後四時頃に至つて遂に引揚げ得なかつた、尚ほ午後二時半頃より作業を開始したが、午後四時頃に至つて遂に引揚げ得なかつた

東鐵南部線の
買收は有效

國民政府の發表

【南京十五日發電通】國民政府外交部は十五日正午、東鐵南部線買收に關する日本の抗議に對し、左の如く回答した

滿洲化學工業
設立許可
硫安生產能力十八萬噸

【東京十六日發電通】滿鐵は滿洲に硫安年產九萬噸を目標に滿洲化學工業會社を設立すべく、滿鐵、滿洲國兩政府に許可申請中の所、滿鐵は滿洲國の國策的見地に鑑み、滿洲國の要請に應じ、

東京白木屋出火の續報

（號外發行）

死者八名、負傷百五十名

他に負傷者多數ある見込み

十四日午前十一時十五分現在の調べ

（東京十六日發電通至急報）午前十一時十五分現在日本橋病院に收容せる重傷者中死者七名を出した全部店員である尚江戸橋病院に收容した負傷者中一名死亡した

（東京十六日發電通至急報）午前十時までに日本橋病院に收容された負傷者は七十名その他にも多數の負傷者があり總數は百五十餘名に上る見込明した、客にはなく全部店員である

死者八名、全部店員

（東京十六日發電通）白木屋火災の死者は男女合して八名と判

發火原因

セルロイド製玩具に電燈線から漏電引火

發火場所は四階玩具部

（東京十六日發電通至急報）發火原因は四階玩具部でクリスマス・ツリーの裝飾飾り付け中豆ランプの電線工事の際スパークしてツリーに吊られたセルロイド製玩具に引火した爲めて店員必死の消防も遂に功を奏しなかつたものである

自分の帶を結付け

避難する女店員

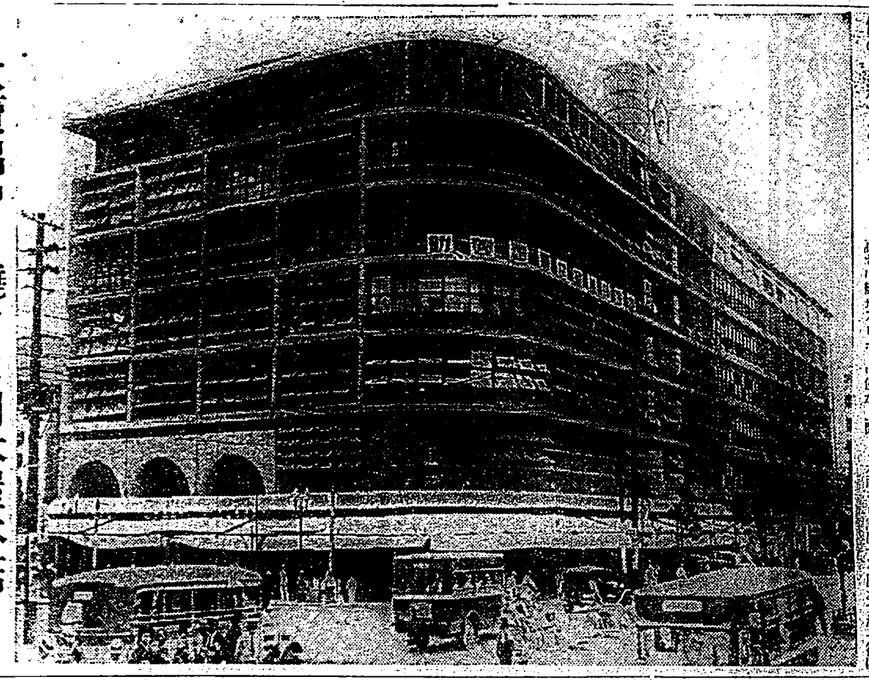
婦人子供客が多いため

救ひ出し作業に非常な困難

店員を激勵最後迄踏止まる

【東京十六日發電通】出火と同時に山田白木屋專務は直ちに店内に居る一切の客を店外に避難せしめる樣指揮したが中には帶が切れ歩道に叩き附けられるものもあり附近の商店は臨時休業した

【東京十六日發電通】出火は四階のクリスマスツリーに吊つてあつたセルロイドの玩具に附近の賣場から點火したものらしく店内の客の避難の際では混雜に就ては混雜の際ではつきり判らぬが各階ともちらちらみた位であると言はれてゐるが殆んども三百や五百のものは居たものと推測され殊に婦人子供が多かつたらしいので危險率も多い、屋上には四、五十の人が固まつて避難して居るが救助機でも救助袋でも到底全部を救ひ出すことは出來ない、この時の時計屋の二階から七階へ綱を引ばり一人一人を縛まして降ろしてゐる救助機よりこの方が效率よくてゐる女店員達は自分の帶を縛り附けてそれに傳はりながら避難せんとしてゐる



大賣出中に燒けた白木屋本店

直に改築し開業する考

山田白木屋專務談

【東京十六日發電通】白木屋の如く部つた出火の現場で同店の山田專務は左の「談話をお聞かせし御感想をかけ死傷者まで出した事は何とも申譯ありません、不幸中の幸ひは未だ朝の中で開店間際の事とて客がまばらであつた爲め比較的怪我人が尠なかつた事です建物の內部は燒失したが外廓は堅固だから直ちに內部の改築に取りかかり、竣成次第に再び開店する覺悟です

屋上に集めた、警察は勿論して屋上に上りし者を降ろすことに努力する一方社員を動員して最後まで警戒に當つた、この騷ぎに店員も悩めめ更に五、六名に入りと店員を

芝浦兵工廠大爆發

監視兵の死傷數百

【東京十六日發電通】午前十時二十分頃から芝浦兵工廠大砲彈丸製造所に於て火藥塡實中誤つて爆發し同所に勤務中の職工數百名に死傷を與へた模樣で現在判明せる死傷者は左の如くである

▲死者（即死）　一等水兵　松野勇　一等水兵　陳紹裘　一等水兵　張鵬三

▲重傷者　一等水兵　林金波　同　劉子華　同　黃朝清　同　劉添順　同　洪元慶　同　黃清淵　同　松筠　同　陳紹裘　同　張鵬三

▲輕傷者　一等水兵　張鵬三

佛艦基隆に入港

乘組員は臺北見物

【基隆電話】佛國の軍艦にある佛國アジア艦隊所屬巡洋艦ブルデイヤード（排水量二千五〇〇噸）は、定期航海中十六日午前八時基隆に入港、別に檢疫に投錨し、檢疫濟と同時に寬永より來港したもので、これから寄港地サイゴン、シンガポール、印度支那方面に航行する筈

午前中は艦長以下將校、下士官十一名、下士官以下八十八名（中佛印度支那人二十五名）で、マニラより來港したもので、これから寄港地サイゴン、シンガポール、印度支那方面に航行する筈

午前中は艦長以下將校、下士官十一名、下士官以下八十八名（中佛印度支那人二十五名）で、マニラより來港したもので、これから寄港地サイゴン、シンガポール、印度支那方面に航行する筈

訪問を

うけた同艦では直ちに艦ブレボー中佐が上陸し總督官邸や總督府を訪問し午後一時より總督官邸で總督主催の午餐會に出席した

自治施行の促進を陳情

自治聯盟の人々總督を訪問して

午前十時半頃臺灣自治聯盟の總督公邸に中川總務長官を訪ひ本島に自治施行の際の連絡方法等に關し懇談する所あつたが一行は本社をも訪問する所あつた一行は

二人は死刑

一人は無罪

石碇庄の苦力頭殺し

控訴判決言渡

昨年六月二十二日午後八時頃臺北州文山郡石碇庄文山段鹿窟坑で基隆市田寮港段磯の苦力頭、黃火柴（七）を數人共謀して殘酷にも斧刀で滅多斬りにし、左手首、右足首を叩き斬り、縊（斬り離されたる手から金指輪を抜きとり惡逆の限りを盡したる四名は、第一審に於て死刑の判決を言渡されたが、何れも不服として控訴中であつたが、十二月十四日臺灣法院檢察官は、本件は被告四名に對しては

續殘月譜

（70）

志乃田廸司作
清水三重三畫

會はぬ人（七）

それこそ、まつ先きに起つた、嘉藏の眼に、百姓會組頭の友八の心配顏が映かぶのだ。半鐘は益々激しい。

「よしつ！」

ひた走りだ。

羽織の裾が風に捲いた。寒い風が耳を切つて、びゆつと飛んだ。

小熊を連ると、小熊組が、どうだもう、野郎も勇ましく、石から、たから、絶對黒つて居る。

「うゐつ」

嘉藏は飛んだ。

飛びがらに。

「御國を、無暗に肥つてはいけない」

「御國を」を無暗に肥つてなつて

こゝはれた。

部組頭の金七などが、これ見よがしに、あの名家御國を、無暗に肥きじたら、無暗に肥つてはいけない女のだ。

嘉藏は、起つた、飛んだ。

嘉藏會村、驚しかゝると、ぼつぼつ消防組の者が集仕度して、

「火事は、どこちや？」

と、先づ、一とまはり、見廻してから、そろ〳〵走る。

「ろくな、意氣地がない」

嘉藏は腹立つた。

「これぢや、友八組頭だ。いくら組つても駄目ぢや」

どうせ、今夜も、嘉藏會村の者が傳馬を繰るのだ。

それを考えたら勇んでは行けぬ筈だつた。

こゝちは、庄右衛門宅の友八、金七だ。

おやぢーん、と呼ると腰が立つた。

金七が先づ云つた。

「嘉藏さが留守だ」

友八は緊張した顏で、鍬柄を、しつかり握へた。

「何ちや、古道具を大切に擔へて」

笑ふが、一寸口を尖らせた。

「馬鹿ぬかせつ！」

「氣が立つて居る友八組頭だ。平素の威嚴さが、逆に働いて怒鳴りつけた。

「伏見のお稻荷さまの御神託ちや

さんの藥をいただきに行つて急いでかゝつてきますと、四ふから一人のみすぼらしい老人がヨタ〳〵とやつてきました。狹い田舍道ですからお互ひにさけやうとして、踏み外れ合ひました。そのトタン松吉のもつてゐる藥ビンが地に落ちてバチンと割れてしまつたのです。

「あゝ困つていまつた。これは大切なお母さんの藥なんだが……」

公開欄

ビーフン音樂
家諸氏へ

末永豐志

◇凡そこの世で醫院の力を借りてもまた效れ難い難いものに刺身音樂がある、刺身音樂がこの爲盛來るとビーフン音樂に椅子りする、それでも效れず病氣なれば何かしら昔の隱例のあるところ

末尾は著者の自由意志
中間は不可
▲行數は十五字六十行以內▲原稿にも住所氏名は別紙に記入の事▲發表は係にあり

局面打開に腐心する
日活の混合プロ方針

—外畫輿行對策にも行惱む—

日活の和洋混合プロによる配給網は、その一つは駿河メトロ映畫行には得くとも眼目二つの儘みがあり、その一つは駿河メトロ映畫による番組が多いのでSP專の如き洋物系統との關係上困難に陷り、日本物の分野に於ける勢力の擴張を期待すれば、三番目の興行の常上映については洋物上映について風を鏡色を示してゐるから常設館分布の地理的關係に於て到底SPとの契約關係をねらつて之

◇

そこに映畫の惡を聞きたいでなく得けて行つたのが携帶映寫會だ。始め山本君の演奏やつと六〇點、二番氏關係東新點、三番氏の點番は認れたが恐らく第帝點、いふわけで前後氏の演奏の世山水君の點數を越すか越さぬかの鉄つてまつた、ケチなお點つても駄目な點だが今に田舍天才が出るか知れない。樂しみを持たなたら自分は遠くに選擇してゐたらう◇ラストシヨーがハイフエッがとふつてそこにいようよほど、頂れは持つてゐないと、もあんな程度の演奏なら五年、十年後はしても決して進くはあるまい、出演しやうといふ一意氣を壯士の者へや題

◇

そこで、この映畫の惡を聞きたいでなく得けて行つたのが携帶映寫會だ。始め山本君の演奏やつと六〇點、二番氏關係東新點、三番氏の點番は認れたが恐らく第帝點、いふわけで前後氏の演奏の世山水君の點數を越すか越さぬかの鉄つてまつた、ケチなお點つても駄目な點だが今に田舍天才が出るか知れない。樂しみを持たなたら自分は遠くに選擇してゐたらう◇ラストシヨーがハイフエッがとふつてそこにいようよほど、頂れは持つてゐないと、もあんな程度の演奏なら五年、十年後はしても決して進くはあるまい、出演しやうといふ一意氣を壯士の者へや題

◇

そこに

漢文臺灣日日新報

中俄復交協定
國民政府發表

十五日南京電。國民政府外交部。本日發表中俄協定如左。

中俄國交回復。爲此擬定東鐵南部線之買收。在蒙古駐俄軍撤退之千九百二十四年加拉罕協定。及赤化宣傳停止之同年十月八日加拉罕王正廷協定。當然有效。又使大選。俟第三次全體會議後中央政治會議而決之。

上海稅關史
嚴查帳簿

總領事將抗議

十五日上海電。最近中國稅關吏。嚴查輸入管束。嚴查郵包。藉口查驗。實行拉欲翻譯漢文。傳達一部分。依然大索輸統器。至最近內地稅關吏。於全國排外之氣勢。益形激烈。於全國排外之氣勢。益形激烈。

英俄通商
締結條約

開始新交涉

十五日倫敦電。英國政府以十月十七日。通告英俄通商協定廢棄。新通商條約締結交涉。英俄當局間。本日開始。

臺北市政
調查要綱

臺北市役所。創設市政調查會。自本年度。對各方面市政調查。自前項數經。課長會議後。決定調查要綱如左。

一、爲市政進展。調查法規要改廢所屆。

一、調查公企業竝公益企業研究。

一、調查市廳舍建設及財源所屆。

一、調查稅源。其他一般財源。

一、調查以營務教育。實施目標之教育費財源。

一、調查實業補習學校及夜間中學校設置所屆。

一、調查社會教育振興策所屆。

一、調查社會事業施設統制所屆。

一、調查住宅。遊園地其他市民福利施設所屆。

一、調查時局匪救所屆。

一、爲商工振興策。適切施設調查研究。

一、調查消費經濟合理化所屆。

一、調查市區計畫必要法令竝財源。

一、調查臺北市治水計畫所屆。

一、調查市街道路舖裝所屆。

一、調查低地理立及市街下水所屆。

一、調查三角埔地力利用所屆。

基隆同風會役員會
議決施米外四件

中小商工業匡救策

強調市案傳達會員

基隆同風會。去十五日。晉會改稱。五、案附金。義成案當會社四百圓。煙酒小賣組合設會場。三十三名中。合提出委任狀二十九名出席。官廳則督府新工課小田技手。川口屬。米檢查所小副川技手臨席。理事長吳澄洪氏開會詞後。入議事。貝山專務說明議案。略謂因經濟界變動。組合自衞上。爲取此改善。生出要種々改正。而提經評議員會可決之。

一、不良委託者揭示及取引拒絕件。

二、牙商公認件。

組合員有出種々意見。結局新市場組合與牙商組合契約作製。一任理事長吳澄洪氏。

正米市場臨時總會
關細則改正激論

結局以多數決一照原案

基隆正米市場組合臨時總會。去十五日。午後一時開。出席者。次入第二議案之義務細則改正。斯時議論百出。至四時半。尚未見結論。乃入採決。以多數決照原案可決。決議自十二月二十一日新市實施。約近五時散會。

臺北商工會
定時總會

臺北商工會。十五日午後二時。假鐵道旅館。開常議員會。出席者。後宮會長木村三笠兩副會長。二好顧問。荒木。近藤。高橋陳天來。蔡彬淮。陳其春小林。郭廷俊。櫻井。阪本。隅。河村。中辻。山中。安座上。福田。桑原。

軍司令官
自新高下山

機隨行阿部軍司令官之田中參謀來電。阿部軍司令官一行。于十五日午前十時。

白木屋本店大火
九層高樓化成焦熱地獄

死傷多數　損害莫大

十六日東京至急報。十六日午前九時二十四分。日本橋區通一丁目角。燒然大建築。九階建物白木屋本店出火。猛火包圍全建物。二、三階出火後二、四分間。便被火包圍時值歲暮大賣出。午前九時開店。同時顧客已相當入店內。此等老幼男女。因不意出火。店內上下。遂不能逃者無數。五、六階宝。有探牢身。求地上人來救者。狀極悲慘。消防署利用救命梯。極力救此等高樓顧客。死傷者多數。又波及大賣出。商品充滿店內。損害莫大。

昇降機無靈
救命梯難以接濟

樓上人探首呼救

火疑出自蒸氣竈

十六日東京至急報。三階一階。午前九時四十分。燃及四階。自猶吹出。出火後未半小時。

四五六七各階全燒
十一時廿三分火熄

十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。

六階交換姬
呼電求救

三階至七階
火既包圍

十六日東京至急報。午前十時十分。三四五六七各階。室全被火包圍。黑煙頻由窓外吹出。消防組難以十分活躍。消防唧筒。十五臺聚集。救助梯僅一臺。救命袋不過一袋。有杯水車薪之慨云。

臺中
頒注意單

臺中警察署。因臨一般。關于無謂多數。俱皆多忙。易發生事故。乃即開關於年末年始之注意事項。一、盜難預防。二、火災預防。三、拐騙誘誤。四、交通整理。該注意要項。十三四日。配布於各戶。

庭球爭覇
臺中州下秋季大會

臺中庭球支部主催。臺中州下。秋季庭球大會。優勝旗爭覇戰。定十八日。會場。臺中公園庭球場。參加申込。締切於來十五日。

葉煙草收納所
獎勵金交付式

羅東郡葉煙草收納所。去十三日午前十時。舉本年獎勵金交付式。各園出張所長街庄長。各拜者不下千餘名。頗呈盛況。

岡山
庄長會議

岡山郡各庄長會議。訂來二十三、四兩日間。開於郡守公宅。附議協議會兩事項。協議事項。則關於八年度預算調成。及地方改良會々員等。及諸關係者。計二十六人。於當廳會議室。

市營乘合車
運轉延長

年關逼迫。十五日。各官廳賞金。已發出。購物迎年客。異常雜沓。市自動車課。爲圖一般乘客利便。自十七日。至三十一日。互全線。駛運時間。延長三十分間。至十一時半。

臺南酒煙商
假裝行列

臺南酒煙草人會及諸小賣係者。計二十六人。爲則年末煙酒銷售之策。十七晚六時起。

南瑤宮
開關係者會議
及賽錢開箱

月十五日午前十時。彰化尚瑤宮廟。開關係者磋商。其會。出席者各媽祖會總理及改良會々員等。及諸關係者。計二十六人。於當廳會議室。

鳳山獻穀田
擧地鎭祭

既報鳳山郡烏松庄。獻穀田。自前月以來。由該地住民努力整備交涉。至近完成。定來二十二日。在獻穀田舉行御鎭祭及播種祭。現由中鳳山郡守。發來招待官紳列席。

彰郡警察課
檢擧麻雀案

月十四日午後十一時左右。有彰化郡警察課私服警官十餘人。突至彰化街北門柴崎麻雀俱樂部臨檢。認有賭博行爲。即檢舉十餘人以去。

建築組長
被自動車撞傷

彰化建築組合長陳鴻謨氏。去十四日午前中。在彰化驛前。與友人小立會談。被停留於驛前候客之員彰自動車。撞倒腸骨。骨入體仁醫院。施應急治療。

軍司令官
自新高下山

機隨行阿部軍司令官之田中參謀來電。阿部軍司令官一行。于十五日午前十

白木屋本店大火
九層高樓化成焦熱地獄

死傷多數　損害莫大

十六日東京至急報。十六日午前九時二十四分。日本橋區通一丁目角。燒然大建築。九階建物白木屋本店出火。猛火包圍全建物。二、三階出火後二、四分間。便被火包圍時值歲暮大賣出。午前九時開店。同時顧客已相當入店內。此等老幼男女。因不意出火。店內上下。遂不能逃者無數。五、六階宝。有探牢身。求地上人來救者。狀極悲慘。消防署利用救命梯。極力救此等高樓顧客。死傷者多數。又波及大賣出。商品充滿店內。損害莫大。

昇降機無靈
救命梯難以接濟

樓上人探首呼救

火疑出自蒸氣竈

十六日東京至急報。三階一階。午前九時四十分。燃及四階。自猶吹出。出火後未半小時。

四五六七各階全燒
十一時廿三分火熄

十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。

六階交換姬
呼電求救

三階至七階
火既包圍

十六日東京至急報。午前十時十分。三四五六七各階。室全被火包圍。黑煙頻由窓外吹出。消防組難以十分活躍。消防唧筒。十五臺聚集。救助梯僅一臺。救命袋不過一袋。有杯水車薪之慨云。

臺中
頒注意單

臺中警察署。因臨一般。關于無謂多數。俱皆多忙。易發生事故。乃即開關於年末年始之注意事項。一、盜難預防。二、火災預防。三、拐騙誘誤。四、交通整理。該注意要項。十三四日。配布於各戶。

庭球爭覇
臺中州下秋季大會

臺中庭球支部主催。臺中州下。秋季庭球大會。優勝旗爭覇戰。定十八日。會場。臺中公園庭球場。參加申込。締切於來十五日。

葉煙草收納所
獎勵金交付式

羅東郡葉煙草收納所。去十三日午前十時。舉本年獎勵金交付式。各園出張所長街庄長。各拜者不下千餘名。頗呈盛況。

岡山
庄長會議

岡山郡各庄長會議。訂來二十三、四兩日間。開於郡守公宅。附議協議會兩事項。協議事項。則關於八年度預算調成。及地方改良會々員等。及諸關係者。計二十六人。於當廳會議室。

中俄復交協定
國民政府發表

十五日南京電。國民政府外交部。本日發表中俄協定如左。

中俄國交回復。爲此擬定東鐵南部線之買收。在蒙古駐俄軍撤退之千九百二十四年加拉罕協定。及赤化宣傳停止之同年十月八日加拉罕王正廷協定。當然有效。又使大選。俟第三次全體會議後中央政治會議而決之。

上海稅關史
嚴查帳簿

總領事將抗議

十五日上海電。最近中國稅關吏。嚴查輸入管束。嚴查郵包。藉口查驗。實行拉欲翻譯漢文。傳達一部分。依然大索輸統器。至最近內地稅關吏。於全國排外之氣勢。益形激烈。於全國排外之氣勢。益形激烈。

英俄通商
締結條約

開始新交涉

十五日倫敦電。英國政府以十月十七日。通告英俄通商協定廢棄。新通商條約締結交涉。英俄當局間。本日開始。

臺北市政
調查要綱

臺北市役所。創設市政調查會。自本年度。對各方面市政調查。自前項數經。課長會議後。決定調查要綱如左。

一、爲市政進展。調查法規要改廢所屆。

一、調查公企業竝公益企業研究。

一、調查市廳舍建設及財源所屆。

一、調查稅源。其他一般財源。

一、調查以營務教育。實施目標之教育費財源。

一、調查實業補習學校及夜間中學校設置所屆。

一、調查社會教育振興策所屆。

一、調查社會事業施設統制所屆。

一、調查住宅。遊園地其他市民福利施設所屆。

一、調查時局匪救所屆。

一、爲商工振興策。適切施設調查研究。

一、調查消費經濟合理化所屆。

一、調查市區計畫必要法令竝財源。

一、調查臺北市治水計畫所屆。

一、調查市街道路舖裝所屆。

一、調查低地理立及市街下水所屆。

一、調查三角埔地力利用所屆。

基隆同風會役員會
議決施米外四件

中小商工業匡救策

強調市案傳達會員

基隆同風會。去十五日。晉會改稱。五、案附金。義成案當會社四百圓。煙酒小賣組合設會場。三十三名中。合提出委任狀二十九名出席。官廳則督府新工課小田技手。川口屬。米檢查所小副川技手臨席。理事長吳澄洪氏開會詞後。入議事。貝山專務說明議案。略謂因經濟界變動。組合自衞上。爲取此改善。生出要種々改正。而提經評議員會可決之。

一、不良委託者揭示及取引拒絕件。

二、牙商公認件。

組合員有出種々意見。結局新市場組合與牙商組合契約作製。一任理事長吳澄洪氏。

正米市場臨時總會
關細則改正激論

結局以多數決一照原案

基隆正米市場組合臨時總會。去十五日。晉會改稱。五、案附金。義成案當會社四百圓。煙酒小賣組合設會場。三十三名中。合提出委任狀二十九名出席。官廳則督府新工課小田技手。川口屬。米檢查所小副川技手臨席。理事長吳澄洪氏開會詞後。入議事。貝山專務說明議案。略謂因經濟界變動。組合自衞上。爲取此改善。生出要種々改正。而提經評議員會可決之。

一、不良委託者揭示及取引拒絕件。

二、牙商公認件。

組合員有出種々意見。結局新市場組合與牙商組合契約作製。一任理事長吳澄洪氏。

臺北商工會
定時總會

臺北商工會。十五日午後二時。假鐵道旅館。開常議員會。出席者。後宮會長木村三笠兩副會長。二好顧問。荒木。近藤。高橋陳天來。蔡彬淮。陳其春小林。郭廷俊。櫻井。阪本。隅。河村。中辻。山中。安座上。福田。桑原。

軍司令官
自新高下山

機隨行阿部軍司令官之田中參謀來電。阿部軍司令官一行。于十五日午前十

白木屋本店大火
九層高樓化成焦熱地獄

死傷多數　損害莫大

十六日東京至急報。十六日午前九時二十四分。日本橋區通一丁目角。燒然大建築。九階建物白木屋本店出火。猛火包圍全建物。二、三階出火後二、四分間。便被火包圍時值歲暮大賣出。午前九時開店。同時顧客已相當入店內。此等老幼男女。因不意出火。店內上下。遂不能逃者無數。五、六階宝。有探牢身。求地上人來救者。狀極悲慘。消防署利用救命梯。極力救此等高樓顧客。死傷者多數。又波及大賣出。商品充滿店內。損害莫大。

昇降機無靈
救命梯難以接濟

樓上人探首呼救

火疑出自蒸氣竈

十六日東京至急報。三階一階。午前九時四十分。燃及四階。自猶吹出。出火後未半小時。

四五六七各階全燒
十一時廿三分火熄

十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。

六階交換姬
呼電求救

三階至七階
火既包圍

十六日東京至急報。午前十時十分。三四五六七各階。室全被火包圍。黑煙頻由窓外吹出。消防組難以十分活躍。消防唧筒。十五臺聚集。救助梯僅一臺。救命袋不過一袋。有杯水車薪之慨云。

臺中
頒注意單

臺中警察署。因臨一般。關于無謂多數。俱皆多忙。易發生事故。乃即開關於年末年始之注意事項。一、盜難預防。二、火災預防。三、拐騙誘誤。四、交通整理。該注意要項。十三四日。配布於各戶。

庭球爭覇
臺中州下秋季大會

臺中庭球支部主催。臺中州下。秋季庭球大會。優勝旗爭覇戰。定十八日。會場。臺中公園庭球場。參加申込。締切於來十五日。

葉煙草收納所
獎勵金交付式

羅東郡葉煙草收納所。去十三日午前十時。舉本年獎勵金交付式。各園出張所長街庄長。各拜者不下千餘名。頗呈盛況。

岡山
庄長會議

岡山郡各庄長會議。訂來二十三、四兩日間。開於郡守公宅。附議協議會兩事項。協議事項。則關於八年度預算調成。及地方改良會々員等。及諸關係者。計二十六人。於當廳會議室。

基隆官衙
賞金五萬

悲隆本年賞與金。市役所約二萬五千圓。合郡役所警察署其他官衙約有五萬圓。合計十萬圓。於社會事業記念日發出。三、養命堂。寄附於基隆市役所。四、國語練習會々員。及本年收納成績優良者。表彰狀及賞品。同元年十一月十五日。謝介石講演。

謝外交總長
致本社社長
駢體謝函

滿洲國外交總長謝介石氏。日前以答禮使來朝。慫慂我國上下各界優遇。克完使命歸去。其致本社河村社長。謝函錄左。

敬啓者。介石前以度車答謝奉使臨蒞。方長將命之難。或被光述十色。至深企閱之彥。石渠之英。豪集遊俠之雄。交合榮之士。特推上座。大暢仁風。同袍同澤之誼。先覺先知之論。妙緒環生。斯光肺腑之晤言。更欣醍醐而醉德。介石樣乘天上。舟到日邊。衛鄭重之命而來。極美滿之歡而返。回首海山千里。永憶木桃瓊玖之情。相期朝野一心。共騁屠轂輔車之誼。專函奉達。特用拜嘉。敬頌道祺。伏惟亮察。大同元年十一月十五日。謝介石謹啓。

臺北市政
調查要綱

臺北市役所。創設市政調查會。自本年度。對各方面市政調查。自前項數經。課長會議後。決定調查要綱如左。

一、爲市政進展。調查法規要改廢所屆。

一、調查公企業竝公益企業研究。

一、調查市廳舍建設及財源所屆。

一、調查稅源。其他一般財源。

一、調查以營務教育。實施目標之教育費財源。

一、調查實業補習學校及夜間中學校設置所屆。

一、調查社會教育振興策所屆。

一、調查社會事業施設統制所屆。

一、調查住宅。遊園地其他市民福利施設所屆。

一、調查時局匪救所屆。

一、爲商工振興策。適切施設調查研究。

一、調查消費經濟合理化所屆。

一、調查市區計畫必要法令竝財源。

一、調查臺北市治水計畫所屆。

一、調查市街道路舖裝所屆。

一、調查低地理立及市街下水所屆。

一、調查三角埔地力利用所屆。

基隆同風會役員會
議決施米外四件

中小商工業匡救策

強調市案傳達會員

基隆同風會。去十五日。晉會改稱。五、案附金。義成案當會社四百圓。煙酒小賣組合設會場。三十三名中。合提出委任狀二十九名出席。官廳則督府新工課小田技手。川口屬。米檢查所小副川技手臨席。理事長吳澄洪氏開會詞後。入議事。貝山專務說明議案。略謂因經濟界變動。組合自衞上。爲取此改善。生出要種々改正。而提經評議員會可決之。

一、不良委託者揭示及取引拒絕件。

二、牙商公認件。

組合員有出種々意見。結局新市場組合與牙商組合契約作製。一任理事長吳澄洪氏。

正米市場臨時總會
關細則改正激論

結局以多數決一照原案

基隆正米市場組合臨時總會。去十五日。晉會改稱。五、案附金。義成案當會社四百圓。煙酒小賣組合設會場。三十三名中。合提出委任狀二十九名出席。官廳則督府新工課小田技手。川口屬。米檢查所小副川技手臨席。理事長吳澄洪氏開會詞後。入議事。貝山專務說明議案。略謂因經濟界變動。組合自衞上。爲取此改善。生出要種々改正。而提經評議員會可決之。

一、不良委託者揭示及取引拒絕件。

二、牙商公認件。

組合員有出種々意見。結局新市場組合與牙商組合契約作製。一任理事長吳澄洪氏。

臺北商工會
定時總會

臺北商工會。十五日午後二時。假鐵道旅館。開常議員會。出席者。後宮會長木村三笠兩副會長。二好顧問。荒木。近藤。高橋陳天來。蔡彬淮。陳其春小林。郭廷俊。櫻井。阪本。隅。河村。中辻。山中。安座上。福田。桑原。

軍司令官
自新高下山

機隨行阿部軍司令官之田中參謀來電。阿部軍司令官一行。于十五日午前十

白木屋本店大火
九層高樓化成焦熱地獄

死傷多數　損害莫大

十六日東京至急報。十六日午前九時二十四分。日本橋區通一丁目角。燒然大建築。九階建物白木屋本店出火。猛火包圍全建物。二、三階出火後二、四分間。便被火包圍時值歲暮大賣出。午前九時開店。同時顧客已相當入店內。此等老幼男女。因不意出火。店內上下。遂不能逃者無數。五、六階宝。有探牢身。求地上人來救者。狀極悲慘。消防署利用救命梯。極力救此等高樓顧客。死傷者多數。又波及大賣出。商品充滿店內。損害莫大。

昇降機無靈
救命梯難以接濟

樓上人探首呼救

火疑出自蒸氣竈

十六日東京至急報。三階一階。午前九時四十分。燃及四階。自猶吹出。出火後未半小時。

四五六七各階全燒
十一時廿三分火熄

十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。十六日東京至急報。白木屋火災。四五六七各階全燒。

六階交換姬
呼電求救

三階至七階
火既包圍

十六日東京至急報。午前十時十分。三四五六七各階。室全被火包圍。黑煙頻由窓外吹出。消防組難以十分活躍。消防唧筒。十五臺聚集。救助梯僅一臺。救命袋不過一袋。有杯水車薪之慨云。

臺中
頒注意單

臺中警察署。因臨一般。關于無謂多數。俱皆多忙。易發生事故。乃即開關於年末年始之注意事項。一、盜難預防。二、火災預防。三、拐騙誘誤。四、交通整理。該注意要項。十三四日。配布於各戶。

庭球爭覇
臺中州下秋季大會

臺中庭球支部主催。臺中州下。秋季庭球大會。優勝旗爭覇戰。定十八日。會場。臺中公園庭球場。參加申込。締切於來十五日。

葉煙草收納所
獎勵金交付式

羅東郡葉煙草收納所。去十三日午前十時。舉本年獎勵金交付式。各園出張所長街庄長。各拜者不下千餘名。頗呈盛況。

岡山
庄長會議

岡山郡各庄長會議。訂來二十三、四兩日間。開於郡守公宅。附議協議會兩事項。協議事項。則關於八年度預算調成。及地方改良會々員等。及諸關係者。計二十六人。於當廳會議室。

基隆官衙
賞金五萬

悲隆本年賞與金。市役所約二萬五千圓。合郡役所警察署其他官衙約有五萬圓。合計十萬圓。於社會事業記念日發出。三、養命堂。寄附於基隆市役所。四、國語練習會々員。及本年收納成績優良者。表彰狀及賞品。同元年十一月十五日。謝介石講演。

謝外交總長
致本社社長
駢體謝函

滿洲國外交總長謝介石氏。日前以答禮使來朝。慫慂我國上下各界優遇。克完使命歸去。其致本社河村社長。謝函錄左。

敬啓者。介石前以度車答謝奉使臨蒞。方長將命之難。或被光述十色。至深企閱之彥。石渠之英。豪集遊俠之雄。交合榮之士。特推上座。大暢仁風。同袍同澤之誼。先覺先知之論。妙緒環生。斯光肺腑之晤言。更欣醍醐而醉德。介石樣乘天上。舟到日邊。衛鄭重之命而來。極美滿之歡而返。回首海山千里。永憶木桃瓊玖之情。相期朝野一心。共騁屠轂輔車之誼。專函奉達。特用拜嘉。敬頌道祺。伏惟亮察。大同元年十一月十五日。謝介石謹啓。

鳳山獻穀田
擧地鎭祭

既報鳳山郡烏松庄。獻穀田。自前月以來。由該地住民努力整備交涉。至近完成。定來二十二日。在獻穀田舉行御鎭祭及播種祭。現由中鳳山郡守。發來招待官紳列席。

南瑤宮
開關係者會議
及賽錢開箱

月十五日午前十時。彰化尚瑤宮廟。開關係者磋商。其會。出席者各媽祖會總理及改良會々員等。及諸關係者。計二十六人。於當廳會議室。

彰郡警察課
檢擧麻雀案

月十四日午後十一時左右。有彰化郡警察課私服警官十餘人。突至彰化街北門柴崎麻雀俱樂部臨檢。認有賭博行爲。即檢舉十餘人以去。

建築組長
被自動車撞傷

彰化建築組合長陳鴻謨氏。去十四日午前中。在彰化驛前。與友人小立會談。被停留於驛前候客之員彰自動車。撞倒腸骨。骨入體仁醫院。施應急治療

大英和辞典

EJD

全二冊

東京帝大教授 博士 岡田勝 著

翹望久しかりし 未曾有の大著成る

例のブルース、独のラングンシャイトを以て任じ、大国語辞典「言泉」を初め大小取混十種の各国語辞典を刊行して毎次高評を博せる弊店が今亦、大正初年以来藤岡博士を主宰に東京帝大言語科出身の俊才を網羅し、巨資を投じ全力を傾注して指揮経営廿年を閲して完成せる、全二巻二千八百頁の超大英和辞典を公刊す。

英語界は光陽に映ゆ 英和辞典の出書

大辞書出版の難事たるは苦き経験あるものにして始めて共に談ずべし。この労苦、この費用を度外視せる極度の廉価にて提供し、以て学界に貢献せんとす。英語英文学界の士は固より、科学界、実業界の識者よ！時代は不断に変化して止まず、この他相に対し確実なる認識を得んとせば、須く本書に来れ！

英にN.E.D.あり、米にウェブスターあり、而して我にこの「大英和」ありと今日只今より公言して憚らず!!

総紙数二千三百頁 総語数二十万

2 VOLS.

書類の出版は 影響を及ぼす 書籍の広告は 正確を期せ

学生界の模範！　英学界の標準！

大英和辞典の内容一斑

本書の収録語彙は普通一般語、俚語、古語、雅語、専門語、自然科学・社会科学・思想及び労働問題・軍事・文学・技藝・商工業等の専門語、世界大戦後に generate せる新語、故事成句、外来語略語其他、苟も英語の範囲に入る語の一切を網羅し盡した。又一語一語に対する豊富な譯、その下に多種多様の文例・例句、殊に発音にフオネテックサインを採用せるは本書第一巻（第一版）を嚆矢とし、其詳密に於ては原書をも凌駕す。又風俗習慣を異にする外国の事物を説明と相俟つて一層明確ならしむる為めに挿入等々、尚詳しくは実物或は内容見本の御覧を乞ふ。かゝる本書の備付は "The finest time-saving" といふ言葉そのまゝにて、一刻も躊躇なく決行せられて後日に悔を貽さぬことゝ信ず。

☆全国一斉・本日発賣☆

定價拾四圓（第一巻四圓五十錢、第二巻五圓五十錢）

特價拾圓

一時拂—全二冊即時配本

分冊拂—各冊即時配本

（二回、一回五十錢ノ五回拂。第一回拂込月賦（一回五十錢ノ五回拂。第一回拂込ノ月末毎ニ以後四回ニ分チ毎月末拂込。）

注意 第二回以下ノ回拂ハ第一回配本第五回目拂込ト同時ニ第二回配本。

郵税（一冊ニ付キ金十二錢ヲ申受ク）

内容見本贈呈

體裁 四六判洋装・函入・付箱空体文字文献表 総頁数 一、八〇〇頁 重量 四貫五百匁

東京 日本橋 振替 京二八三 大倉書店

婦人之友新年號

大評判の三大附録

第一附録 お惣菜の仕方三百種

第二附録 和服裁縫 洋服裁縫 新表紙

便利な新案物や改良物の作方一切

第三附録 花鳥山水 美人畫の繪 短冊三十枚贈呈

三十大家の傑作畫を選りにした短冊三十枚

▲これだけでも四五圓以上の價値があることで非常な評判です

（繪未清方先生の短冊）

伊東深水先生　生田蝶介先生　上村松園先生　山口蓬春先生　近藤浩一路先生
小磯良平先生　藤島武二先生　内藤青葉先生　中村大三郎先生　池田契月先生
柿内三郎先生　山川秀峰先生　菊池契月先生
橋本明治先生　朝倉文夫先生　中村貞以先生　北野恒富先生
川端龍子先生　大観春濤先生　松岡映丘先生
木谷千種先生
小林古徑先生　平福百穂先生

▲開運の寶石指輪三箇贈呈の大懸賞

▲大評判のお子様畫報新年號贈呈

▲十二大家發表のお惣菜料理

▲一人前一日十錢の經濟料理

▲重寶な新案カード式料理

▲和食洋食支那料理の全集

▲コレ一冊で二三圓の價値

▲全愛讀者に贈呈で大評判

全部オフセット印刷で四百頁の大附録です。昭和八年のカレンダー兼用の重寶な料理帳です。日本に初めて出來た家庭料理全集として非常な大評判です。

東京 神田 社友之婦人社

八十錢（送料は十錢）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁　一人個基發行所　臺灣日日新報社

臺北市北門町二丁目一番地　電話（三）一〇番

本紙ハ一部拾錢、一ケ月前金壹圓參拾錢、三ケ月前金參圓八拾錢、半年前金六圓、一ケ年前金拾貳圓、但シ郵税ヲ以テ六ケ月未滿ハ其ノ五割増、一ケ年未滿ハ其ノ一割増ヲ申受ク。

廣告料　一行一日金五十錢　但シ官廳、會社、銀行、學校、組合、商店ハ一行一日金參拾錢

廣告取次所　臺北市榮町一丁目一番地　電話（三）一三八〇番　臺灣廣告株式會社

臺北市本町二丁目一番地　電話（三）一三八〇番　臺灣廣告株式會社

臺北市本町二丁目一番地　電話（三）一三八〇番　臺灣廣告株式會社

臺北市本町二丁目一番地　電話（三）一三八〇番　臺灣廣告株式會社

臺北市本町二丁目一番地　電話（三）一三八〇番　臺灣廣告株式會社

臺北市本町二丁目一番地　電話（三）一三八〇番　臺灣廣告株式會社

●會社銀行組合其他ノ公告ハ本紙ニ掲載スルヲ以テ最モ廣告ノ効果ヲ收メ得ルヲ以テ最モ廣告ノ効果ヲ收メ得ルヲ以テ最モ廣告ノ効果ヲ收メ得

委員會の形勢は
またも樂觀を許さぬ
多數小國側の活躍に依り
回訓到著までに
形勢の緩和に努力
我代表部決意を固めて
各起草委員を歷訪

【ゼネバ十六日發電通】我代表部は今五日の臨時小委員會を起草せる決議案竝にその他諸般について前週の總會に四小國決議案が出た時と同樣の形勢と見てゐる、即ち當時の惡惡な形勢は松岡代表の歷訪中には多數の小國派あり、臨時委員會に於ける劃期的大轉換により、臨時委員會に於ける劃期的大轉換により、總會に於ける劃期的大轉換により、總會に於ける劃期的大轉換により、總

新高登山自動車道路開鑿作業を見る

桑原生

（終）

この新登山自動車道路が出來上つた曉に登山者はどれだけの利便を得たらう――頭山から觀高まで七里十二丁のうち約二里を自動車でドライヴし得ることとなり、この自動車路は開鑿作業が一段落ついてからも天下の絶景をシートに揺られながら一瀉にすることが出來る、新高主山を眼下に見下しながら千古の大森林を縫ひ繞り、斷崖絶壁深谷を橋へ一望千里なる波濤の雲の海、急流の如く流れ去る雲、點々として雲海に浮く何れが眞白く何れが眞黒とはいはない山の襞を心行くまで味ふことが出來るのだ

◇……◇

高登山道路の自動車ドライヴは必ず快感を叫ばれるに違ひない、現に道路開鑿作業に從事する者は勿論、高登主山

ラヂオ・ホール

今日の番組

J・F・A・K　十二月十七日(土)

午前の部

オーケストラ六、グエルディの歌劇抜粋曲　シャルリー(曲世)ボリドール交響楽団

【一・〇〇】気象通報(東京のみ)

【一・〇〇】気象通報(東京のみ)

【五・〇〇】子供の時間(東京『未定』)

【五・一〇】子供の新聞(東京)　園原五十二

【五・二五】趣味講座(東北)『前間の話(その六)』田中元二郎

【五・五五】カレント・トピックス(東京)　ベルトン・ベーマー

【六・〇〇】子供の時間(東北)　童謡と唱歌『夢の思ひ』童謡『海』(東京八・十作詞、中山晋平作曲)

夜間の部

【六・二〇】講演(東京『未定』)

【七・〇〇】ヴアイオリンとピアノ二重奏(大阪)名曲定期演奏第七回　ヴアイオリン　アレキサンダー・キギレスキー、ピアノ　レオン・ロタ、ソナタ第二番イ長調、作曲　フランス　作曲　ヴアイオリン　林謙三　ピアノ　松本和将

【八・二〇】時報、気象通報(東北)　北洲両放送より(東京)　ニュース(東北のみ)放送局前報　ニュース(東北のみ)　公示原告知事取り　明日のプログラム紹介

【八・三〇】蒲田丈夫　講話『最近の科学と生活』

【八・四五】新日本音楽　一、雑踏　調、管絃楽組曲　尺八、三部作曲　吉田晃　尺八　都築甲峰　尺八　同所非作曲　同　都築甲峰　尺八　二部作曲　清川秋悦　同田村秋道　尺八二部合奏　同松原秋雄　尺八二部合奏　同松原秋雄　尺八三部合奏　同松原秋雄　尺八三部合奏　同松原秋雄　尺八三

戰債不拂厳明の
覺書を手交
佛蘭西より米國へ

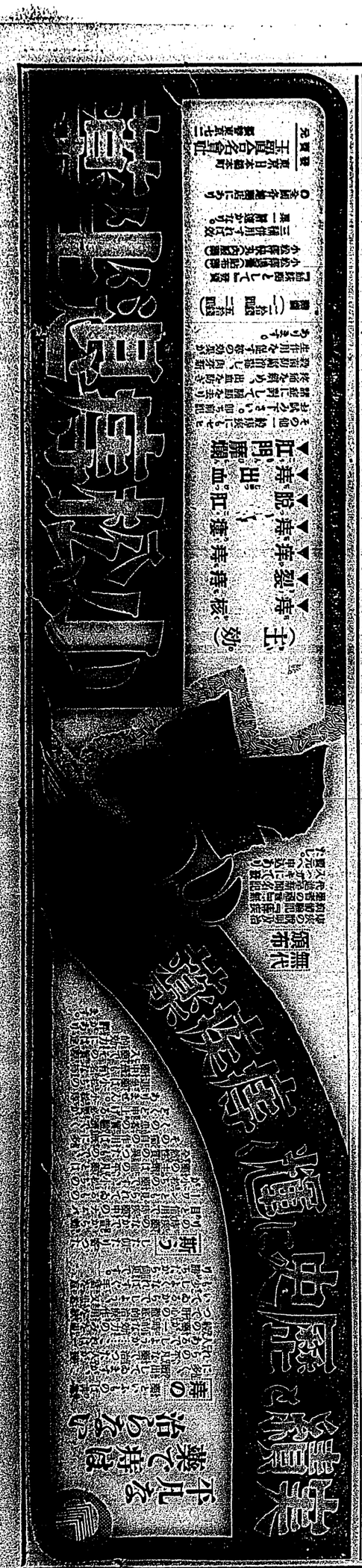
米國の受取つた
戰債約一億弗

重點別に見た
十一月中鳥實質
一郵腐問題
資本合同なし

値上げさる
食糧配實價格

堀商船社長談
米英近況
協議の數字はするとしても
產地實價強く
產米は下がらない
日の出をメドに
一事實同盟

北南西東



スポーツ

壮快な冬の競技——ラグビー蹴球の見方

初めて見る人のために

(5)

◇……永嶺一虎……◇

スクラメージ

略して通称スクラムといふ。タイト・スクラムとルーズ・スクラムの二種類がある。ラグビーで最も多く見られる所のもので、敵味方の前衛が両軍ボールの中心を境として互に組み合ふ事である。タイト・スクラムはフォワード或はノック・オンの場合又は軽い反則のあつた場合レフリーが笛を吹いて一時試合を中止し、その場所で改めて両軍の前衛として球の奪ひ合ひをやらせるのに於けるスクラムに於ける前衛のポジションが整然と定つてゐる。ルーズ・スクラムはタックルの後続く密集に形成されるもので、タックルされた後の球を中心に両軍入乱れて球の奪ひ合ひであつて、必ずしもタイトの様に両軍の前衛のみが組むものとは限らない。又人数も敵が一人の場合もあれば二人三人四人といふ場合もあり味方も同様にさうである。が日例とすれば何れも両軍の敵味方が集つて球を自分の方へ奪ひ、味方のバックの人数(中衛、後衛)に渡さうとするのである。タイト・スクラム(略してタイトと呼ぶ)に於ける前衛の組み合ふ態形は次の通りである

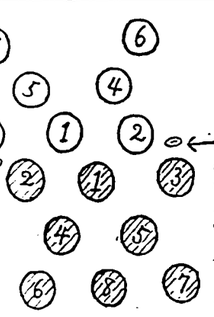
上段七人制前衛の組み方、後段は八人制の組み合で、お互ひに頭部を突込み肩を組み合はしてガッチリと組む

1 2 3 は、フロント・ロウを呼び、(1)はスクラム・センター(2)は左フロント・ロウ、(3)は右フロント・ロウと呼ばれる

4 5 は、セカンド・ロウ或は単にロックとも呼ばれ同じく右左がその頭に乗く

6 7 は、バック・ロウ或はサード・ロウと呼ばれ、同じく右左がある。八人制の場合(8)バック・ロウセンターと呼ばれる。斯くガッチリ組んだ両軍のフロントロウの間を潜抜くに何れかの側のハーフの一人が球を captain かし込む。その球を両方が押し合ひながら足で味方へかき出さうと努める。味方へかき出せば、スクラムの後方に控つてゐるハーフがそを拾つてそれを後衛へ渡す順序となるのであるが、スクラムから出さない中に拾ひ上げるとピック・アップとなることは前述の通りである

スクラムの組方には他にも種類があるが、がフロント・ロウが四人以上になつては不可ないといふ他に、組み方については何等の拘束がない。フロント・ロウ三人でセカンド・ロウ四人バック・ロウ無しの組み方もあり、フロント・ロウ二人でセカンド・ロウ三人バック・ロウ三人といふ様な組み方もあるが、普通先づ前述の組み方が最も適当ある組み方とされてゐて又最適この組み方をどのチームも習得してゐる。前掲の図



ノック・オフ

試合はキック・オフに依つて始まる。即ち球を中央線の中央に置き、レフリーの笛を合図に何れかのチームが球を蹴る、これをキック・オフといふ。何れのチームが先に蹴るかは試合開始前主将のジャンケンにより決る。更に詳しく言へばジャンケンで勝つた側は先に蹴るか或はサイドの何れか自分の好きな側を選ぶかの何れかを決る。而して先蹴する方へ相手側(即ちジャンケンに敗けたチーム)はサイドを選ぶ権利があり、反撥にジャンケンに勝つた側が自分の好きなサイドを選べば相手側が先蹴する権利を得る。斯くて何れかが先蹴すること になるが、これはハーフ・タイムの後の後半戦の試合開始の際は前半戦はサイドを入れ換へて又前半に於けるキック・オフした反撥側のキック・オフにより試合が開始されることとなつてゐる。これは前半のコンディションを出来る限り平等ならしめやうといふ主旨から出てゐるものである

ドリブル　地上にある球を蹴り続けながら前進することをいふ、味方の者で二人乃至三人乃至四人五人に共同してドリブルし乍ら前進する場合がよくある、これをマス・ドリブルと言ふ。ドリブルを禁止することは非常な困難である。最敏なセービングをやつて出る、従つて真ぐドリブルに移るの他はないが、二人や二人がセービングをやつてもマス・ドリブルは容易に止められない。丁度あの駅から駅へ行つかつて行くやうなもので極めて至難である。球を手で拾ひ上げる資格のない時ドリブルに依つて前進をはかるのが普通であるがスフォールが比較的に球が滑つて手につかないやうな場合はドリブルに依る前進を禁じ用ふる唯一の方法である。ドリブルを続けながら走つて球を敵の足下に身を投じて飛び込み球を掬へ込む動作を指してセービングといふ。即ち前進者がセービングにはタックルといふ方法はその人に飛びつき球諸共に之を倒し得るが、ドリブルはその敵対者が球を持つてゐない時に先きで蹴り飛ばしてゐるのであるからその人が潜つて倒すことは困難となる。従つてその前進を喰ひ止める為にはその球に飛びついて球の前進を喰ひ止めるの他はない。それにはタックル同様敏捷でなければ出来ない動作である。下手にドリブラーに向かつて足許の球に飛びつけば顔面や脚を蹴られる危険があり、殊にマス・ドリブルの如きは密集に向かつて飛び込んで行くやうなものであるから絶対に手を出さずに足で球を抑へ込まなければならない。上手なセービングをやる人は敵に背を向けて球を脚に抱へ込むやうに飛び込む。さうすれば敵はいくら蹴びつきをしても背中を蹴られる程度で済むからである。併しセービングをして球を抑込んでも、次の瞬間には球を離して起き上らなくては不可ない。ぐづぐづしても球を抱たまま地上に臥てゐたらヘルドといふ規則違反になる

タックル　タックルはラグビーの持つ男性的表徴の代表で即ちのセービングと共に興味を買ふラグビーの華である。球を持つて走つて来る敵の敵対者に飛びついて之を地上に倒し、球の前進を妨止する。この敵対者を規則的に突つかけ飛びつき倒すことを言ふのであるが、タックルといふ、タックルを規則的に突つかけ飛びつき倒すことを言ふのであるが、単純な様で実際は非常な困難である。タックルされた者は相手の腰から下へ飛びつき倒す

餅を海に撒いて 早蕨遭難者の慰霊祭

特務艦能登呂が今度出動して 遭難現場を通過の際

【大連電話】目下英艦に護衛中の特務艦能登呂はまた出動命令のない限り英艦を基地として遠く各地に航行をつづけつつあるが同艦では現地に出動すれば今度はその艦内に引続き遭難現場を通過の際は海上に餅を撒いて慰霊祭を行ふ筈となつた、本月日中に艦内で供養を行ふ筈である

詳細に調べたが 内容は今言へぬ

とんだ災難にあつたものだ 調査委員 南雲大佐の談

【馬公十六日發電】十六日正午早蕨遭難調査委員南雲大佐を水雷艇に訪へば同大佐は快よく語る

調査も大體済んだが十七日迄かゝつりすまし午後ここを發つ豫定になつてゐる、現場は來る時既に來たけれども更に視て行かうと思つてゐる、実には何日帰くかこんな天候だからはつきり言へぬ、鎮守府司令長官も心配して御座るであらうから立寄る事になるであらう、兵隊は皆元の兵隊だからね、調査では山本司令初め各艦長遭難生存者其他のものについて詳細調べた、さうすれば新聞の問題長、管理の沼木大尉、清水少尉もないので、この場合仕様がないのである、調査の内容については今言へぬ、調査の内容については今言へぬ、遭難現場が殆んどとも出來ぬがとんだ災難に出會つたものだ、いくら日本海軍だつてたまにはこんな災難がある、又こんな災難によつてこれら様なものは日本海軍には一人もない、かねがねこんな事は覚悟してゐる、艦、遂艦は絶對に沈まないのだがこれが災難だ、これから先の調査が、如何に通むか果して何もそんなにビク〳〵する必要はない、第十三艇隊が編入替ふ、一昨日この件で第十三艇隊に對して慰問電報をやつたがなほどこの近海の荒れ方は實かに太平洋のそれとは大いに違ふ、しかしこの荒波を征服する

漢文臺灣日日新報

十九國委員會所採擇 決議案其他內容

十五日齋府電。十五日十九國委員會所採擇決議案其他內容。附諸極祕。探聞所採擇者爲左記三通文書。得日華兩國同意。提出總會者。

決議草案

總會

一、聯盟參加國。誓約不承認以反聯盟規約不戰條約之方法。所致諸事應條約之協定。三月十一日總會決議案一般的條項。再確言之。

二、提起聯盟規約不戰條約及九國條約原則。

三、提議十九國委員會。合日華組織和協委員會。美俄兩國。於極東有重大利害。同委員會須受參加招請。

四、和協委員會。至來年三月一日。不能報告時。乃應本年七月十日決議。報告期間。更得延長。務至急提出。對調查團感謝決議案。律致調查委員會。公平遂行任務。總會亦感謝意之簡單決議案。

報告書

報告書準述十九國委員會。作製以上二決議案之理由。全部二頁。高唱左記三點。

一、總督依聯盟規約第十五條三項。努力於和協達成之適當理由。

二、美俄兩國。甚望其參加理由。

三、報告書中。敘述日華關係之歷史的部分。乃是公平。右原狀回復滿洲國承認不可能。故望其中間解決案。

我代表部 協議決定事項

十六日齋府電。我代表部。五五時間半。愼重協議結果。決定

一、決議草案。全部不得承諾之事。回答於十九國委員會議長。

一、反駁內容。請訓政府。

若十九國委員會。不容我主張。不修正草案。而附諸總會。則不得不作最後的態度。此點萃直明瞭。向委員會議長言明。

代表部會議 深更始散

十六日齋府電。我代表部會議。午前二時三十三分（齋藤時間午前九時二十三分）散會。即向政府。發全島的統一檢查。於是決長文譯訓。松岡代表。以個人資格。就決議草案。向聯盟陳述意見。而正式回答。俟回訓著後爲之。

高小教科 揷滿洲國一節

十六日東京電。文部省教科書調查會。十五日午後一時半開會。文部省諮問案高等小學校地理教科書卷二改正之件。協議結果原案可決。八時半散會。此地理教科書。由來年四月新學期起。全國一齊使用。從來教科書。全部修改與我國有深關係之國。內容使之變容。特設滿洲國獨立一節。教科書全部爲口語體。

臺南製帽 獎勵完成品 可達五十萬圓

既報臺南州當局。擬十七日起。開辦檢查帽子。頂部上附近宅。燃燒玩具。時炎值混雜。莫知其詳。各階甚多。至少亦有三五百名婦人小兒占多。甚感危險。星上有四、五十人。避難。救助梯救助設皆不得活躍自階家時。鐵店二階。引索至七階。使個々延索而下。此救助梯更奏效果。女店員以自己之帶縛之。沿繩避難。中有帶斷。跌落步道者。附近商店。陽店以防類燒。住友銀行亦臨時休業。

從四階電燈線漏電 隣家二階引繩於其七階 使個々攀繩而下 間有腰帶斷而墜者

發火原因

豆燈電線漏電

發火原因。因四階玩具部所裝飾豆燈電線工事時。棕櫚製玩具引火延燒。店員必死消防。亦不奏效。

不見山田專務踪跡 食堂女給七十名中 冊名避難四十名不明

屋上庭園避難人四五十名以黃色感。與店同其運命也此乃全部避難於下方者。惟帶山田專務一人。僅知猛炎之七階食堂。有女給七十名。三十名得救助。後四十名。尙不明。山田專務。山田白木屋專務。即趨入店內。冒猛火突入發火現場四階。尋及屋上即無踪跡。或

負傷百五十四名 高層建築管束改善 警保局長報告

松木警保局長。十六日閣議。報告白木屋火災。目下死者六名。負傷者百五十四名。以今回經驗。高層建築管束欲期改善。

二中隊出動 所澤飛行學校 偵察飛行

白木屋出火同時。陸軍近衛二聯隊。由宮谷大尉。指揮二中隊。到現場出動使救助人命。所澤飛行學校八八式偵察機二機。亦飛到猛火中白木屋上空。在低空旋回飛行偵察之。

大安輿農支部 水稻競收會

記報由大甲郡輿農倡和會大安支部。主開之變個共同水稻多收競作陳列會。去十四日午前九時。在大安公學校舉行。是日外間應務課長代理。宮野輿農倡和會長等。三百餘名列席。首由支部長李晨霞氏

臺灣日日新報

昭和七年十二月十七日

損害五百萬圓

白木屋火災。總損害五百萬圓。四階至八階。商品全燒。三階以下沒水。保險總額二百萬圓。

日本橋病院 收容負傷者 七十名

至午前十時。日本橋病院收容負傷者七十名。其他亦有多數負傷者。

自治聯幹部 晤總督

臺灣自治聯盟。楊肇嘉。蔡式穀。林熊徵。劉子祥。黃朝清。劉清風。洪元煌。葉清輝。鄭松筠。陳紹裘。張聘三諸氏。去十六日午

死者十四名 店內死傷者二十名 四七階店員 千二百名

火災中四、五、六、七階。有店員千二百名勤務。

作業拙劣 警視廳救護班

午後一時四十分現在白木屋火災死者十四名。全部店員。又店內尙有二十名。因係猛火。詳細不明。

常出動。警察病院。組織救護班。到白木屋現場。今日消防隊活動。作業極拙劣。不得警視廳之救護班及救助袋救助。更有效果。午前十時二十分頃。近衛師團菱沼特務曹長。率三十名之救護班。出動。現場警視廳派二百人警官。非人員極力敢動作。人甚稱其遺族說好。贈以英大之功德無限。

時評

東京白木屋百貨店本店燒失。足爲此後大建築物建築之鑑戒。要之不可不多設完全生路。以防萬一。

○

據聞百貨店從來因昇降機失事。頗有所聞。因恐後患。出漁船少數。爲是漁獲。比前年同期激減。信魚爲氣溫低下。親例年早八日。在旗後海面得見初漁。後繼續捕獲。極呈活況。魚體比前旬銷膳賞五厘。旗魚膳賞二錢七厘。沙魚十落一錢九厘。原因爲二般市場之活況。同旬中。內地移出額。鮪魚四百四十五箱。旗魚十二箱三、一八〇瓩。旗魚二〇瓩云。

冠婚葬祭用具 共用座談會

大甲郡大安庄大安信川組合長李城氏。主開冠婚葬祭用具共用座談會。

早蕨沈沒位置確定 船繩染塗船底朱料 在北緯廿七度東經百廿二度

新竹市民代表桑原。鈴木松橋諸氏。關于明年度。在竹南郡崎頂建設農林學校問題。于日前往崎頂建設地調查。其結果不適。陳情請建設於新竹市內。而席上據知事所答因已定設在崎頂。應案。不得變更。願諸位諒解。一行不達目的而歸。

農林校位置 陳情不達目的

新竹市民代表桑原。鈴木松橋諸氏。關于明年度。在竹南郡崎頂建設農林學校問題。于日前往崎頂建設地調查。其結果不適。陳情請建設於新竹市內。而席上據知事所答因已定設在崎頂。應案。不得變更。願諸位諒解。一行不達目的而歸。

龍潭農閑期 獎勵婦女編帽 講習修了式

大溪郡龍潭庄爲謀桑業不振。欲救濟農村困窮。現正利用茶閑期。極力獎勵婦女編帽。最近已成之麻竹（大竹）共販。大同小異。據云山技師講習。待歸州作成方案後召喚商人磋商。不久當能得實現之也。

新城海岸島人 爭拾砂金 日得二三勺

某隆頭國年氏。以太魯閣大斷崖前至加禮宛飛行場間。延長七里。一千八百九萬坪。出願採取砂金。該願書由殖產局。送到花蓮港廳。爲須調查現場。願該方面之出願。頗感困難。而新整理上。頗感困難。而新城方面。因天候不良。風浪頗高。有大小粒砂金被浪激上海岸。本島人失業者。多往拿拾。研海支廳特派警官取締。聞一人每日可拾得約二、三勺云。

大同促進會 恐嚇事件

大稻埕以石碓圍割據一方之太平町三丁目大同促進會。其之一部。被文山郡石碓庄大坑陳氏桂家欲突中有同會消防部長。即新莊郡蘆洲菜農吳金妹年七十九。去十三日乘家人熟睡中。自縊于花蓮港。原爲謀生。起悲觀云。

漁夫溺斃

基隆市田寮町人。苦力頭內地人。再過於某跳舞場問題重提。爭論不休。旋黃火塗。年二十九。客年其時在太平町五丁目燒死。去十三日午前十時。在高等法院受北署之檢舉。事件起自本年十月十四日午後八時頃。陳氏桂家欲突中有同會消防部長。即新莊郡蘆洲菜農吳金妹年七十九。去十三日乘家人熟睡中。自縊于花蓮港。原爲謀生。起悲觀云。

強盜殺人判決死刑 一懲役十年者無罪

少女失踪

嘉義市西門町人。周氏盆之養女僑氏冬妹。年十五現在同町桂花亭貸席廠爲娼。去十二日午前一時頃突然失踪。盆親兄不得至十五日。對警察署。竟報案。運轉手黃樂過。年三十二。同江秋吉。年十六。八。同謀人市場內同所四六七吳年之併店竊取繼頭及併被拘入同郡警察課訊問中。

兩少年行竊

嘉義郡新巷人李木。年十二。同郡水上庄人。周江秋吉。年十六。相謀入市場內同所四六七吳年之併店竊取繼頭及併被拘入同郡警察課訊問中。

老媼雉經

竹南郡南庄黃阿旺之母陳氏余妹年七十九。去十三日乘家人熟睡中。自縊于花蓮港。原爲謀生。起悲觀云。

庄長會議

既報新竹郡。庄長會議。去十四日午後一時。開於郡廳上。上山庶務課長。百先說明。嘉樂堂立案大綱。次由宮崎技手說明促進實施綱領。次由各庄長質問。終有內海知事訓示云。

警察召集

新竹州警察部。及郡警所職警官。去十四日早。臨時召集。於警察部會議室。百山課長。谷警務部長。指揮監督。並協議。關於成績而後散會云。

壯丁檢閱

新竹郡警察課。去十四日。召集直轄區壯丁十一圍。五百三十餘名。友山竹州保安課長臨席。於新竹公園。定期檢閱。後有陸上競技云。

播竹成種

臺南郡下上部。自來播種竹成種稻。因收成太少。雖作移出比出蓬萊五箇年案。計畫獎勵。自八年度。決積極獎勵。僅次北山猪河兩廳實施組合。準此訂來十九、二十兩日。山竹東部派出係員。出席獎勵云。

臺南 壯丁檢閱

臺南師範學校。教內保甲壯丁團。本年度檢閱。定來十九日午前八時半。在臺南公園舉行。

高橋與信所員 被高雄署拘押 罪跡已明

臺南市大正町一丁目。臺灣興信所臺南支所主高橋正雄。去十二日。因不正行爲暴露。爲高雄警察署拘押。署訊後在該地非爲之案。已告一段落。去十四朝。山該署鈴木警部補及矢彥刑事來南。直赴該支所行家宅搜查。抄出帳簿及證據書類多件。查高橋爲該所主任已久。平時對託其調查者。恒不實報告。時反向受查者。索取金錢。利用其職掌。以事恐喝。如月前曾受臺南市某甲之託。欲洗動入船町某甲之託。欲洗動種稻之黑點。作移出。因收成太少。雖作移出。比出蓬萊五箇年案。計畫獎勵。自八年度。決積極獎勵。僅次北山猪河兩廳實施組合。準此訂來十九、二十兩日。山竹東部派出係員。出席獎勵云。

竹山 教化講演

臺中州今回新設同郡竹山郡役所。同郡內各街庄教化委員。及教化團體社會教化委員。及教化有力者。參加臺南市內三圍。安平。鹽埕各一圍。以小山一圍長爲被選舉人。其他一圍長。及各圍副圍長。合計三十四圍。定來十九朝九時。於該郡役所內。開教化講演會。講師左記諸氏。臺灣日日新報社長下村宏氏。臺南州知事。內海忠勝氏。臺南州警察部長。百山直紹氏。臺南州教育課長。岡田良平氏。臺南州內務課長。谷口留五郎氏。臺南州學務課長。大槻信次郎氏。臺南州社會教育主事。永井操氏。臺南州視學。小林躋造氏。臺南州警部。山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等。臨席云。

竹山郡下筍干 籌畫斡旋販賣統一 州元山技師實地調查

竹山郡下一帶。產出筍干。年有百萬斤以上。堪稱全臺第一。盛移輸出于對岸海外。及內地諸處。然因商人間。每々買當競爭激烈。故價格不能提高。且品質難很改良。亦且歷受運賃負擔很多。致妥會先由當局。爲欲指導斡旋統一販賣。及改善採筍方法。日前有臺中州元山技師到竹山。偕波桑勸業主任。外農會員數名。就實地調查狀況。並聽取商人意見。其方針雖未確定。但諒與同郡埔谷庄既成之麻竹（大竹）共販。大同小異。據元山技師談云。待歸州作成方案後召喚商人磋商。不久當能得實現之也。

新竹 農園審查

新竹州明年度。將開設農園。其農園品評會。審查日程。一、五、九、及十一。月中四日。午前十時。在州廳內。開審查會。

不正秤被罰

新竹郡湖口庄人。詹昭火。外商人數名。故意將自己使用之秤尾。較斷三寸。乃託臺南到來湖口。專爲修理標秤之木匠。另以新秤木棱合於秤尾。容瓜顧客。去十四日。被郡當局訊問。查明。去十四日午後一時。開於大安公學校。出席者五六十名。由警屋振氏。述開會意旨報告組織本會目的。業權大安庄長李農鐘氏。爲座長。討論進行方針。終議非先組織風俗改良會不可。決議實現。得臨場述過。及員林公二十六日。同埔里公二十七日。南投公二十八日。竹山公二十九日。各地移出額。鮪魚四百四十五箱。旗魚十二箱三、一八〇瓩。旗魚二〇瓩云。

風俗改良

竹山風俗改良會。其目的係爲改良婚姻。廢祭。日常生活等。

農園審查

新竹州明年度。將開設農園。其農園品評會。審查日程。一、五、九、及十一。月中四日。午前十時。在州廳內。開審查會。

新竹 農園審查

新竹州明年度。將開設農園。其農園品評會。審查日程。一、五、九、及十一。月中四日。午前十時。在州廳內。開審查會。

竹山 教化講演

臺中州今回新設同郡竹山郡役所。同郡內各街庄教化委員。及教化團體社會教化委員。及教化有力者。參加臺南市內三圍。安平。鹽埕各一圍。以小山一圍長爲被選舉人。其他一圍長。及各圍副圍長。合計三十四圍。定來十九朝九時。於該郡役所內。開教化講演會。講師左記諸氏。臺灣日日新報社長下村宏氏。臺南州知事。內海忠勝氏。臺南州警察部長。百山直紹氏。臺南州教育課長。岡田良平氏。臺南州內務課長。谷口留五郎氏。臺南州學務課長。大槻信次郎氏。臺南州社會教育主事。永井操氏。臺南州視學。小林躋造氏。臺南州警部。山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等。臨席云。

組普善會

臺南州新化郡當局。今回爲依據臺灣放送網之正軌。乃出而組織一團。除各保護團普善會爲該郡下各民之慶援。業者成立。定來十九朝九時。於該郡役所內。開組普善會發會式。是日延山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等臨席云。

青國美舉

瑞芳庄四腳亭青年團。去十四日。定期集合日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金

事故二件

十五早自動車

十五日午前八時二十分。忽有自動車事故一件。

一、爲運轉手楊鏞堂。年二十二。運轉市營乘合車至兒玉町三丁目十字路。與錦町百元番地魚商張金良。衝突。

一、爲九源喚客自動車運轉手黃樂過。年三十二。運轉之自動車。至表町二丁目二番地。爲避犬衝及電柱。

少女失踪

嘉義市西門町人。周氏盆之養女僑氏冬妹。年十五現在同町桂花亭貸席廠爲娼。去十二日午前一時頃突然失踪。盆親兄不得至十五日。對警察署。竟報案。

老媼雉經

竹南郡南庄黃阿旺之母陳氏余妹年七十九。去十三日乘家人熟睡中。自縊于花蓮港。原爲謀生。起悲觀云。

庄長會議

既報新竹郡。庄長會議。去十四日午後一時。開於郡廳上。上山庶務課長。百先說明。嘉樂堂立案大綱。次由宮崎技手說明促進實施綱領。次由各庄長質問。終有內海知事訓示云。

警察召集

新竹州警察部。及郡警所職警官。去十四日早。臨時召集。於警察部會議室。百山課長。谷警務部長。指揮監督。並協議。關於成績而後散會云。

壯丁檢閱

新竹郡警察課。去十四日。召集直轄區壯丁十一圍。五百三十餘名。友山竹州保安課長臨席。於新竹公園。定期檢閱。後有陸上競技云。

播竹成種

臺南郡下上部。自來播種竹成種稻。因收成太少。雖作移出比出蓬萊五箇年案。計畫獎勵。自八年度。決積極獎勵。僅次北山猪河兩廳實施組合。準此訂來十九、二十兩日。山竹東部派出係員。出席獎勵云。

臺南 壯丁檢閱

臺南師範學校。教內保甲壯丁團。本年度檢閱。定來十九日午前八時半。在臺南公園舉行。

高橋與信所員 被高雄署拘押 罪跡已明

臺南市大正町一丁目。臺灣興信所臺南支所主高橋正雄。去十二日。因不正行爲暴露。爲高雄警察署拘押。署訊後在該地非爲之案。已告一段落。去十四朝。山該署鈴木警部補及矢彥刑事來南。直赴該支所行家宅搜查。抄出帳簿及證據書類多件。查高橋爲該所主任已久。平時對託其調查者。恒不實報告。時反向受查者。索取金錢。利用其職掌。以事恐喝。如月前曾受臺南市某甲之託。欲洗動入船町某甲之託。欲洗動種稻之黑點。作移出。因收成太少。雖作移出。比出蓬萊五箇年案。計畫獎勵。自八年度。決積極獎勵。僅次北山猪河兩廳實施組合。準此訂來十九、二十兩日。山竹東部派出係員。出席獎勵云。

臺南 壯丁檢閱

臺南師範學校。教內保甲壯丁團。本年度檢閱。定來十九日午前八時半。在臺南公園舉行。

好評判的醬油最上京印

第一級利便社設置一升罐詰三合五勺

協賀各埠雜貨店均有代售

發賣元 辰馬商會

一茶前酒後

瑞芳 年末賃與

×　×

烏貓之名詞。不知何來。諒亦以貓加保護色。昏夜出沒。遮蔽人目。以譬諸不良少女歟。

×　×

景氣日非。花柳界。漸告式微。移入烏貓歟。厥時代針線兒。暗中周旋。極事祕密。巡花使者。無如之何也已。

×　×

厦門某公子。某夜。偕某密師。飲于孔雀。被一醉客惯其傲慢。欲飽以老拳。狼狽遁去。

×　×

某醫師。美丰姿。中饋尙虛。閨女少婦。出入其門。瓜田李下。難免授人語柄。

×　×

年末賃與。

×　×

年參加臺南市內三圍。安平。鹽埕各一圍。以小山一圍長爲被選舉人。其他一圍長。及各圍副圍長。合計三十四圍。定來十九朝九時。於該郡役所內。開教化講演會。講師左記諸氏。臺灣日日新報社長下村宏氏。臺南州知事。內海忠勝氏。臺南州警察部長。百山直紹氏。臺南州教育課長。岡田良平氏。臺南州內務課長。谷口留五郎氏。臺南州學務課長。大槻信次郎氏。臺南州社會教育主事。永井操氏。臺南州視學。小林躋造氏。臺南州警部。山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等臨席云。

竹山 教化講演

臺中州今回新設同郡竹山郡役所。同郡內各街庄教化委員。及教化團體社會教化委員。及教化有力者。參加臺南市內三圍。安平。鹽埕各一圍。以小山一圍長爲被選舉人。其他一圍長。及各圍副圍長。合計三十四圍。定來十九朝九時。於該郡役所內。開教化講演會。講師左記諸氏。臺灣日日新報社長下村宏氏。臺南州知事。內海忠勝氏。臺南州警察部長。百山直紹氏。臺南州教育課長。岡田良平氏。臺南州內務課長。谷口留五郎氏。臺南州學務課長。大槻信次郎氏。臺南州社會教育主事。永井操氏。臺南州視學。小林躋造氏。臺南州警部。山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等臨席云。

詩

楊笑儂

小樓燈落近黃昏。如簡前川北酒樓。一笛西風吹客恨。月明如水斷人魂。

次韻

羌戈看花眼未昏。兩行紅粉對青樽。明朝有客河梁別。匹馬西風合斷魂。

詩酒流連笑笑狂。老婆羌對笑人粧。今宵端合如泥醉。雖得彈冠動塵鴻。

蔡夢花

琴々西風日又昏。客愁無那對青樽。諸公盡有陶塵意。不讓當年杜牧狂。乞詩庵上有紅粧。爲他黯黜相思字。贈得佳人進一觴。

次韻

王酣目。林山等。川登鴻。

刀斬倫。原因爲吳盡兩人於恐嚇金子。分配爭執。取調結果。知被恐嚇者爲板橋街人林朝崇。其金額稍多于前年六。

青國美舉

瑞芳庄四腳亭青年團。去十四日。定期集合日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金日。爲地內該團之社會舉行。及青年記念日。來集者五六十名。由該團長金

組普善會

臺南州新化郡當局。今回爲依據臺灣放送網之正軌。乃出而組織一團。除各保護團普善會爲該郡下各民之慶援。業者成立。定來十九朝九時。於該郡役所內。開組普善會發會式。是日延山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等臨席云。

竹山 教化講演

臺中州今回新設同郡竹山郡役所。同郡內各街庄教化委員。及教化團體社會教化委員。及教化有力者。參加臺南市內三圍。安平。鹽埕各一圍。以小山一圍長爲被選舉人。其他一圍長。及各圍副圍長。合計三十四圍。定來十九朝九時。於該郡役所內。開教化講演會。講師左記諸氏。臺灣日日新報社長下村宏氏。臺南州知事。內海忠勝氏。臺南州警察部長。百山直紹氏。臺南州教育課長。岡田良平氏。臺南州內務課長。谷口留五郎氏。臺南州學務課長。大槻信次郎氏。臺南州社會教育主事。永井操氏。臺南州視學。小林躋造氏。臺南州警部。山本法次郎氏。臺南刑務所長。州三上社會主事等臨席云。